

平成29年度	後期長期研修	校種・領域	高等学校 第2学年 音楽
めざす 児童生徒像	思いや意図をもって、創造的に表現を追求することができる。		
テーマ	創造的な表現力を伸ばす歌唱指導の工夫		
サブテーマ	楽譜と指揮の効果的な活用を通して（第2学年）		
概要	これまでの授業を振り返ると、生徒に作曲者の思いや意図を捉えさせたり、楽曲の歴史的背景を踏まえながら音楽表現を創意工夫させていくことができていなかった。そこで、音楽表現を創意工夫させていくためには、生徒自身が音楽表現を自分ごととして捉えながら、根拠をもって音楽表現を追求していくことが必要ではないかと考え、本テーマを設定した。 本研究では、音楽表現を自分ごととして捉えさせながら、客観的に捉えた音楽表現を根拠をもって追求させることで「創造的な表現力を伸ばすことができる」と仮説を立て実践に取り組んだ。 実際の指導では、「歌唱指導の工夫」「楽譜の活用」「指揮の活用」を行い主体的に音楽表現を追求させていった。その結果、捉えた音や音楽を手掛かりに音楽表現を追求する過程で、歌唱に必要な技能を生徒自ら高める姿が見られた。		
キーワード	「創造的な表現力」「音楽表現を自分ごととして捉える」「音楽表現を客観的に捉える」 「歌唱指導の工夫」「根拠をもって音楽表現を追求する」「楽譜と指揮の活用」		
イメージ図	(創造的な表現力を伸ばす)		
成果	▶楽譜や指揮を活用した学習を通して、生徒に自分ごととして音楽表現を捉えさせ客観的に捉えた音楽表現を根拠をもって追求させることで、創造的な表現力を伸ばすことができた。 ▶生徒が音楽表現を追求していくことで、フェルマータの表現の仕方や、音楽表現に沿って強弱を付けるなど、歌唱に必要な技能を生徒自ら主体的に高める姿が見られた。		